



# 笠取・かっぱらんどトピックス



## すくも作り【ゆり】 9月24日(火)～

藍物語がどんどん進んでいき、「すくも」作りのタイミングとなりました。「すくも」とは、摘み取りした後に乾燥させた藍の葉に水を混ぜて腐葉土の状態にしたものをさし、藍染めの工程には欠かせない作業の一つです。すくもが完成するまで約6週間は毎日攪拌し続けなければならないのです！



「抹茶みたいなおい！」「ぱりぱり昆布のおい！」「葉っぱが水を吸ってフニャフニャになった」など五感で感じた気づきを次々に教えてくれました。

乾燥させた藍の葉にカルキ抜きした水を混ぜて攪拌をしていきました。



日に日に発酵が進み、臭いが強烈に！温度変化の記録も必要なので、グラフに記していきます。

「すくもは生きている」という話から「ちゃんとお世話する！」とやる気満々！パワーを送ったり、樽を抱きしめたりする姿も

## 米の観察【ゆり】



「また大きくなって！」と観察に行く度に成長している稲と背比べ♪稲穂も実ってきましたよ！収穫が楽しみ～！



## 泥藍【ゆり】

藍色素は水に溶けないので、水の中に藍の葉を沈めておくと色素が沈殿します。その上澄み液を流してしまおうと、泥状の藍色素がたまり、その状態を「泥藍」と呼んでいます。その実験を行ったゆりさん！



上澄み液を取り出すためにサイフォンの原理を利用！「なんで最初しか吸ってないのに、水が流れるん？」と不思議がっていました。活動を通しての「なぜ？」「不思議！」「知りたい！」「やってみたい！」に繋がっています。



泥藍の水分を蒸発させていくと、染料となっていきます。掌が濃い藍色！その染料を使い紙になぞって描く子ども達

